

長浦地区 まちづくり協議会だより

Vol.8

令和6年7月1日発行
長浦地区まちづくり協議会

会長あいさつ

長浦地区まちづくり協議会総会開催にあたり、一言あいさつさせていただきます。

令和5年度を振り返りますと、5月8日には新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類相当に移行となり、行動制限がなくなりましたことから、計画しました全ての事業を実施することができました。主な事業として、10月1日には、長浦地区自治連絡協議会と共同で「第5回長浦地区合同祭礼」を6年ぶりに長浦駅前通りで盛大に開催することができました。12月には、イルミネーション点灯事業を長浦駅南口ロータリー内に12月1日から3月3日まで実施しました。

令和6年度は、特別事業として袖ヶ浦市との市民生活デジタル活用事業を実施します。具体的には「高齢者のためのスマホ教室」を7月から9月に掛けて長浦交流センター、蔵波台自治会館、長浦駅前自治会館、代宿公民館の4か所で開催予定です。

今後も「地域の課題解決に向けた活動、活力ある地域づくり、安心・安全なまちづくり」に取り組んで参りますので、会員の皆様にご協力をお願いし、私のあいさつとさせていただきます。



令和6年度まちづくり 協議会活動計画

長浦地区まちづくり協議会の5つの部会では、令和6年度の活動に向けた会議を行っています。今回は取り組みとして計画している事業を紹介します。

総務・広報部会：広報誌を年間4回発行とイルミネーション点灯用ポスターを作製します。

安心・安全部会：あぶない場所調査資料のまとめと住宅用火災報知器のPRをします。

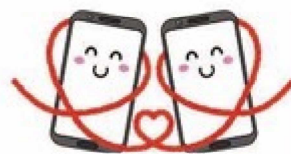
健康・福祉部会：ナガックスなどと連携し、スポーツフェスタや地域福祉フェスタへ参加を計画しています。

青少年部会：ながうら青空の会と共催でデイキャンプと親子ウォーキングを計画しています。

地域活性化・環境づくり部会：さつま芋収穫祭とイルミネーション点灯を計画しています。

スマホ教室と イルミネーション点灯活動

●長浦地区4つの施設で7月から9月にかけて高齢者を対象にスマホ教室を開催予定です。なお、詳細は地区回覧板等でお知らせします。



●長浦駅の防犯と地域の人たちの安らぎを目的に今年も12月から翌年3月まで長浦駅前にイルミネーションを点灯します。



長浦地区簡易防災倉庫の豆知識

長浦地区には6か所に簡易防災倉庫があり、非常時の対応に備えていますが、食糧等の常備品数量は、下表のように思っているよりも少ない印象です。有事の際には外部からの支援物資もありますが、自分のものは自分で準備するといった対応が必要と思われます。

長浦地区簡易防災倉庫食料・飲料水備品一覧

番号	場所	食糧（食）	飲料水（L）	備考
1	長浦小学校	3,050	528	災害用井戸あり
2	長浦中学校	2,010	600	
3	蔵波小学校	2,150	480	災害用井戸あり
4	蔵波中学校	975	600	
5	長浦交流センター	1,600	720	
6	臨海スポーツセンター	2,490	600	
合計		12,275	3,528	
		1,363（人分）	1,470（人分）	食糧は3日分、飲料水は1日分で算定

（出典：市役所防災安全課）

蔵波小学校簡易防災倉庫



長浦小学校簡易防災倉庫



内部概況



まちづくり協議会について



Q：まちづくり協議会ってなあに？

A：交流センターや小学校区といった地域単位において、様々な団体が連携し、情報共有の機能と地域の課題解決や活性化を図る組織です。長浦地区においては、自治会や長浦地区住民会議（ながうら青空の会）など多くの団体が加入しています。

事務局・問い合わせ先
袖ヶ浦市長浦交流センター
TEL:0438-62-5713 FAX: 0438-60-1138
E-mail: sode62@city.sodegaura.chiba.jp



@NAGAURAMACHIKYO